

## 横浜港南本牧ふ頭に 国内最大1,000TEU型の内航コンテナ船が初入港しました！

横浜港では、国際コンテナ戦略港湾として基幹航路の維持・拡大に向けて、東日本を中心に各港と連携を進め、内航コンテナ船による横浜港への貨物の集積に取り組んでいます。

この度、井本商運株式会社（本社：神戸市）が令和5年5月に新造した内航コンテナ船「きそ」（全長約142m、最大積載数1,096TEU(注)）が、6月6日に横浜港南本牧コンテナターミナルに初めて入港し、歓迎式典が開催されました。

同船は、国内で運航する内航コンテナ船において最大となり、横浜港と苫小牧港を結ぶ航路に就航する予定です。今回の就航は、内航コンテナの輸送力強化につながり、横浜港への集貨を促進するものとして期待しています。

(注) TEU：20フィートで換算したコンテナ個数



右から、山崎機関長、藤原船長、APMターミナルズジャパン（株）熊代表取締役社長、井本商運（株）井本代表取締役社長、関東地方整備局 石橋副局長、横浜市 中野港湾局長、横浜川崎国際港湾（株）人見代表取締役社長

【きそ】

(参考1) 本船詳細

本船名	きそ
総トン数	9,662G/T
最大コンテナ積載数	1,096TEU
全長	141.90m
竣工年月日	2023年5月10日（旭洋造船）

(参考2) 「きそ」寄港地  
横浜→苫小牧→仙台

お問い合わせ先

港湾局物流運営課長

鹿志村 兼貴 Tel 045-671-2873